

所属	人文学 部 人文学科	職 名 教授	フリガナ 氏名 インドウアキヒサ 犬童 昭久	生年月 1970年12月
最終学歴	兵庫教育大学連合学校教育学研究科博士課程		学位 学校教育学博士	専門分野 図画工作教育、美術教育
担当科目	美術史、保育内容（表現Ⅱ）、保育内容の理解と方法、図画工作科教育法、小学校教育実習Ⅰ、卒業研究、図画工作【幼】 【小】、特別研究			
所属学会	美術科教育学会、大学美術教育学会、和文化教育学会、InSEA（国際芸術教育学会）、OMEP日本委員会、日本保育学会、日本STEM教育学会、日本基礎造形学会			
I 教育活動				
	教育実践上の主な業績	年月日	概要	
2014	1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）			
	(1) 授業内容の工夫改善Ⅰ	2014年4月～2015年3月	理論と演習（制作）を連動させることで、制作の意味を理解させ、造形活動への興味・関心を高める授業展開を行った。	
	(2) 授業内容の工夫改善Ⅱ	2014年4月～2015年3月	実際の教育現場での言葉がけの実例の紹介や教職員としての資質向上のための資料を提供することを通して、教職における考え方を深める授業展開を行った。	
2015	(3) 授業内容の工夫改善Ⅲ	2014年4月～2015年3月	制作後に作品鑑賞の時間を設けると共にポートフォリオ・スケッチブックを作成させ、学生自らが学びの成長の過程を振り返り、次時の学習に活用できるようにした。	
	(1) 授業内容の工夫改善Ⅰ	2014年4月～2016年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。	
	(2) 授業内容の工夫改善Ⅱ	2015年4月～2016年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。	
	(3) 授業内容の工夫改善Ⅲ	2015年5月～2016年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での実例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。	

2016	(1) 授業内容の工夫改善 I	2016年4月～2017年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善 II	2016年4月～2017年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善 III	2016年6月～2017年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2017	(1) 授業内容の工夫改善 I	2017年4月～2018年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善 II	2017年4月～2018年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善 III	2017年7月～2018年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2018	(1) 授業内容の工夫改善 I	2018年4月～2019年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善 II	2018年4月～2019年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善 III	2018年8月～2019年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2019	(1) 授業内容の工夫改善 I	2019年4月～2020年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善 II	2019年4月～2020年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善 III	2019年8月～2020年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。

2020	(1) 授業内容の工夫改善Ⅰ	2020年4月～2021年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善Ⅱ	2020年4月～2021年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善Ⅲ	2020年8月～2021年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2021	(1) 授業内容の工夫改善Ⅰ	2021年4月～2022年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善Ⅱ	2021年4月～2022年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善Ⅲ	2021年8月～2022年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2022	(1) 授業内容の工夫改善Ⅰ	2022年4月～2023年3月	適宜制作や鑑賞を取り入れて関心・意欲を喚起する授業の組み立てを行った。
	(2) 授業内容の工夫改善Ⅱ	2022年4月～2023年3月	美術に関わる諸要素の理解が円滑となるよう、具体的な事例を示すことにより関心を高める授業展開を行った。
	(3) 授業内容の工夫改善Ⅲ	2022年8月～2023年3月	計画に従い授業展開を行うとともに、実際の学校現場での事例や場面を提供したり、教員としての資質向上のための資料により考え方を深めるべく授業展開を行った。
2014	2 作成した教科書、教材、参考書		
	(1) 教材作成Ⅰ	2014年度通年	米国で調査した「レッジョ・アプローチ」の実践事例を含めた「保育の内容（表現Ⅱ）」の資料を作成した。
	(2) 教材作成Ⅱ	2014年度通年	米国で調査した「ビジブル・シンキング」プロジェクトの実践事例を含めた「図画工作」における表現と鑑賞の指導法に関する資料を作成した。
	(3) 教材作成Ⅲ	2014年度通年	「図画工作教育法」における指導案作成等に関する資料を作成した。

2015	(1) 教材作成Ⅰ	2015年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2015年4月～7月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2015年9月～2016年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
2016	(1) 教材作成Ⅰ	2016年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2016年4月～7月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2016年9月～2017年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
2017	(1) 教材作成Ⅰ	2017年4月 7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2017年9月 2018年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2017年9月 2018年1月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
2018	(1) 教材作成Ⅰ	2018年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2018年9月～2019年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2018年9月～2019年1月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成 鑑賞教材等を紹介するHPの作成 (授業内容のWEB上での公開) file:///Users/indouakihisa/Desktop/in dy-dog サイトデータ/index.html
2019	(1) 教材作成Ⅰ	2019年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2019年9月～2020年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2019年9月～2020年1月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
2020	(1) 教材作成Ⅰ	2020年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2) 教材作成Ⅱ	2020年9月～2021年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3) 教材作成Ⅲ	2020年9月～2021年1月	「図画工作科教育法」における指導案作成等に関する資料の作成

2021	(1)教材作成Ⅰ	2021年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2)教材作成Ⅱ	2021年9月～2022年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3)教材作成Ⅲ	2021年9月～2022年1月	「図画工作教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
2022	(1)教材作成Ⅰ	2022年4月～7月	「保育内容（表現Ⅱ）」における制作の仕方等に関する指導用資料の作成
	(2)教材作成Ⅱ	2022年9月～2023年1月	「図画工作」における表現と鑑賞に関する指導用資料の作成
	(3)教材作成Ⅲ	2022年9月～2023年1月	「図画工作教育法」における指導案作成等に関する資料の作成
2015	3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 (1)「児童教育コースのあゆみ」刊行に係る取組	2015年6月8日	人文学科こども専攻児童教育コース開設4年目を記念し、これまでの取組みをまとめた「児童教育コースのあゆみ」を刊行するにあたり編集と表紙等作成を担当した。本紙では質の高い小学校教師の育成をめざし、教育委員会や学校現場の理解と協力を得ながら実施した四年間の様々な取組みを紹介している。
2018	(1)第41回美術科教育学会発表 トーランスの創造性テストの再考と試行Ⅰ-予備テストから見えてくるもの-	2019年3月27日	会場は札幌大谷大学。共同研究者は以下のとおり。前村晃（佐賀大学名誉教授）、栗山裕至（佐賀大学）、丁子かおる（和歌山大学）、樋口和美（福岡女子短期大学）、白石恵理（中村学園大学）、宮崎祐治（神野こども園）、王寺直子（認定こども園あかさかレンビニー園）
2019	(1)OMEP アジア・太平洋地域大会2019 Reconsideration of Torrance ' s creativity test and trial test I - Some results of the preliminary test -	2019年9月27日	会場は京都テルサ。共同研究者は以下のとおり。前村晃（佐賀大学名誉教授）、栗山裕至（佐賀大学）、丁子かおる（和歌山大学）、樋口和美（福岡女子短期大学）、白石恵理（中村学園大学）、宮崎祐治（神野こども園）、王寺直子（認定こども園あかさかレンビニー園）
	(2)第16回和文化教育全国大会 地域に関わる伝統・文化に関する学習の実践 -図画工作科の授業における「鬼瓦」を取り上げた事例-	2019年10月16日	会場は鳴門教育大学。共同研究者は東奈美子（熊本市立健軍小学校教諭）

2020	(1)第43回美術科教育学会 トーランスの創造性テストの再考と試行Ⅱ-幼児期(5~6歳児)における調査と分析-	2021年3月26日	会場は愛媛大学 (Zoom開催)。共同研究者は以下のとおり。前村晃 (佐賀大学名誉教授)、栗山裕至 (佐賀大学)、丁子かおる (和歌山大学)、樋口和美 (福岡女子短期大学)、白石恵理 (中村学園大学)、宮崎祐治 (神野こども園)、王寺直子 (認定こども園あかさかカルピニー園)
2021	(1)第44回美術科教育学会 トーランスの創造性テストの再考と試行Ⅲ-児童期(9~10歳児)における調査と分析-	2022年3月6日	会場は明治学院大学 (Zoom開催)。共同研究者は以下のとおり。前村晃 (佐賀大学名誉教授)、栗山裕至 (佐賀大学)、丁子かおる (和歌山大学)、櫻井晋伍 (福岡県立大学)、樋口和美 (福岡女子短期大学)、白石恵理 (中村学園大学)、宮崎祐治 (神野こども園)、王寺直子 (認定こども園あかさかカルピニー園)
2022	(1)第45回美術科教育学会 トーランスの創造性テストの再考と試行Ⅳ-大学生対象の調査結果及び幼児・児童との比較-	2023年3月25日	会場は兵庫教育大学 (Zoom開催)。共同研究者は以下のとおり。前村晃 (佐賀大学名誉教授)、栗山裕至 (佐賀大学)、丁子かおる (和歌山大学)、櫻井晋伍 (福岡県立大学)、樋口和美 (福岡女子短期大学)、白石恵理 (中村学園大学)、宮崎祐治 (神野こども園)、王寺直子 (認定こども園あかさかカルピニー園)
	4 その他教育活動上特記すべき事項		
2014	(1)朝日野総合病院における季節の飾りつけボランティア派遣と指導	2014年11月~現在	朝日野総合病院へ学生と共に定期的に訪問し、季節の壁面装飾作品の製作と飾り付けの指導を行った。
	(2)芦北町立星野富弘美術館との連携	2014年4月~現在	保育コース「あしきた合宿」では美術館での作品鑑賞、講義「図画工作」では冬休みの課題として詩歌作品展応募に向けた制作に取り組ませる等、連携した活動に取り組んだ。
2015	(1)美術館訪問「熊本県立美術館」	2015年6月6日(土) 2015年9月27日(日)、10月4日(日)	「美術史」の講義の一環として学生を熊本県立美術館に引率し、「印象派のふるさとノルマンディ展」の作品鑑賞と学芸員によるレクチャーを受けた。 「図画工作科教育法」の講義の一環として学生を熊本県立美術館に引率し、作品鑑賞とレクチャーを行い、美術館教育普

2016	(1)美術館訪問「熊本県立美術館」	2016年7月24日(土)	及担当者「学校と美術館の連携」について協議の場を設けた。 講義「美術史」の一環として学生を熊本県立美術館に引率し、作品鑑賞を行った。その後のギャラリートーク(『海外に行きます、絵画修行』)に参加し、美術鑑賞の意義について学生同士で考察を行う場を設けた。
	(2)朝日野病院における季節の飾付に関する学生ボランティア派遣と指導	2016年4月～2017年3月	毎月2回、定期的に朝日野総合病院へ学生と共に訪問し、季節の壁面装飾作品の製作と飾り付けの指導を行った。飾付展示場所:朝日野病院北病棟3階フロア 活動内容:季節の飾り付け作品作成並びに展示方法の指導
2017	(1)平成28年度朝日野病院季節の飾り付けボランティアへの参加(学外活動)	2017年5月、7月、12月、 2018年3月	朝日野病院北病棟3階フロアにおいて、各季節ごとの飾り付けを学生(ゼミ生)と共に行った。
2018	(1)平成29年度朝日野病院季節の飾り付けボランティアへの参加(学外活動)	2018年5月、7月、12月、 2019年3月	朝日野病院北病棟3階フロアにおいて、各季節ごとの飾り付けを学生(ゼミ生)と共に行った。
2019	(1)令和元年度朝日野病院季節の飾り付けボランティアへの参加(学外活動)	2019年5月、7月、12月	朝日野病院北病棟3階フロアにおいて、各季節ごとの飾り付けを学生(ゼミ生)と共に行った。
2020	(1)遠隔式授業(Zoomとオンデマンド)で美術館訪問「芦北町立富弘美術館」	2020年12月17日、21日、 22日、25日	講義「図画工作」において、美術館と小学校との連携の取り組みについて学芸員より遠隔によるレクチャーと意見交換を行った。
2021	(1)遠隔式授業(Zoomとオンデマンド)で美術館訪問「芦北町立富弘美術館」	2021年12月13日、17日、 15日、24日	講義「図画工作」において、美術館と小学校との連携の取り組みについて学芸員より遠隔によるレクチャーと意見交換を行った。
2022	(1)遠隔式授業(Zoomとオンデマンド)で美術館訪問「芦北町立富弘美術館」	2022年12月12日、13日、 15日、16日	講義「図画工作」において、美術館と小学校との連携の取り組みについて学芸員より遠隔によるレクチャーと意見交換を行った。
	(2)遠隔式授業(Zoomとオンデマンド)で美術館訪問「熊本市現代美術館」	2023年1月20日、23日	講義「図画工作」において、美術館の紹介と「独立した鑑賞の活動」について学芸員より遠隔によるレクチャーと意見交換を行った。

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月日	発行所又は発表雑誌等の名称(巻・号数を含む)	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当ページ数
-----------	---------	------------	------------------------	-------------------	--------

2016	1 著書 『アートエデュケーション思考』「地域教育の取り組みと発信」	共著	2016.9.21	学術研究出版/ブックウェイ	監修：宮脇理	pp. 298～304
2018	『明日の小学校教諭を目指して子どもの資質・能力を育む図画工作科教育法』	共著	2018.3.31	萌文書林	編著：新野貴則、福岡知子	pp. 58-61、 pp. 118-121、 pp. 206-208、 pp. 220-221
2014	2 論文 〈私〉をつくる図画工作教育に関する基礎的考察—遊びのもつ教育的意義と身体性の意味を手がかりに—	単著	2014年12月3日	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 44		pp. 53～65
2015	(1) 森常樹と草創期の地域教育に関する一考察-熊本県芦北地域における取り組みを中心に-	単著	2015.12	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 45		pp. 73～87
2017	(2) 葦北人物列伝-葦峰・森常樹	単著	2016.3.10	芦北町郷土誌「野坂の浦」六二号	編著：西忠温	pp. 15～40
	(1) 造形的な表現と鑑賞の活動に関する試論的考察	単著		九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 47		pp. 99-108
	(2) 日本美術鑑賞学習の現状と課題	単著		九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 47		pp. 109-115
	(3) 「新学習指導要領における図画工作科を通して育む資質・能力とは」	単著		群馬大学『教育実践年報』第7号		pp. 24-28
2018	(1) 「幼児期における鑑賞の活動の方向性を探る-図画工作科の活動へつなげるために-」	単著	2018.3.31	熊本大学研究報告書『未来をひらく美術教育-新たな鑑賞教育プログラムの実践と評価-』	他の執筆者：緒方信行、水野裕史、他	pp. 35-42

2019	(1) トーランスの創造性テストの再考と試行 I	共著		福岡女子短大紀要	樋口和美, 前村晃, 栗山裕至, 丁子かおる, 犬童昭久, 白石恵理, 宮崎祐治, 王寺直子	pp. 15-24
2020	(1) 地域に関わる伝統・文化に関する学習の実践 - 図画工作科における授業実践へのアプローチ	単著	2020. 12. 31	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 50		pp. 50-63
	(2) トーランスの創造性テストの再考と試行 II : 幼児期 (5 ~ 6 歳児) における調査と分析	共著	2021. 2. 8	和歌山大学教育学部紀要	白石恵理, 犬童昭久, 王寺直子, 栗山裕至, 丁子かおる, 樋口和美, 前村晃, 宮崎祐治	pp. 15-24
2021	(1) 図画工作科の鑑賞学習における ICT 活用の試論的考察	単著	2021. 12. 31	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 52		pp. 12-18
2022	(1) トーランスの創造性テストの再考と試行 III : 児童期 (9 ~ 10 歳児) における調査と分析	共著	2022. 12. 24	九州ルーテル学院大学紀要 VISIO 53	犬童昭久, 白石恵理, 王寺直子, 栗山裕至, 丁子かおる, 樋口和美, 前村晃, 宮崎祐治, 櫻井晋吾	pp. 9-18
2014	3 その他 (1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) : 研究代表者		2014 年 4 月	研究課題名「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発」	主に文献調査や資料収集を中心に取り組んだ。	
2015	(1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) : 研究代表者		研究継続中	研究課題名「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発」	主に教材開発に関する取り組みを行った。	
2016	(1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) : 研究代表者		研究継続中	研究課題名「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発」	主に熊本市内の保育施設や小学校等における実践事例の調査を行った。	
2017	(1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) : 研究代表者 (2) 作家と作品紹介、作品名「トルン」	共著	2017. 7. 28	研究課題名「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発」 第 100 回記念佐賀美術協会誌「佐賀美術協会の 100 年」	保育施設や小学校等における実践事例の調査をまとめた。 編者：田代博己（佐賀美術協会実行委員長）	p. 15

2018	(1) 科学研究費助成事業 基盤研究(C) : 研究代表者		研究最終年度	研究課題名 : 「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞教育プログラムの開発」	研究内容を最終報告書としてまとめた。	pp. 1-76
2019	(1) 鬼瓦の鑑賞授業で協力「あらゆる機会に情報発信」 (2) 寄稿『ぼくのおくさん☆柴川敏之展 PLANET HOME』が学生に与えたインパクト		2019. 9. 30 2020. 3. 31	日本屋根経済新聞「すぼっとライト」 『ぼくのおくさん☆柴川敏之展 PLANET HOME』 日時 : 2018年9月8日 [土] - 11月25日 [日]、会場 : つなぎ美術館、	株式会社つばみ瓦工業の取り組みにおいて、共同研究の実践事例として取り上げられた。 エッセイを寄稿した。主催 : 津奈木町、つなぎ美術館、ぼくのおくさん☆プロジェクト実行委員会、助成 : (公財) 水俣・芦北地域振興財団、招聘アーティスト : 柴川敏之、企画協力 : 柴川弘子 (ESD 研究者)、漫画制作 : プブ (booboo.piyō)、企画 : 楠本智郎 (つなぎ美術館 主幹・学芸員)	5 面 p. 146

III 社会的活動

	年月日	委員、講演テーマ・研修会、賞・表彰等の名称	所属、委託団体、授与機関等の名称
2017	1 職務専念義務免除による活動 (1) 2018 年 2 月 2 日 (2) 2018 年 2 月 15 日 (3) 2018 年 3 月 17 日	「第 11 回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査会への参加 (学外活動) 芦北町立星野富弘美術館における専門委員会への参加 (学外活動) 「第 11 回星野富弘美術館詩歌公募展」表彰式における講評	芦北町立星野富弘美術館において「第 11 回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査委員を務め、入賞・入選作品あわせて 63 点を決定した。専門委員会において館長の諮問に応じ、次に掲げる事項 (①美術館資料の収集に関すること、②美術館資料の寄贈及び寄託に関すること、③美術館の企画及び運営に関すること) について専門委員として助言を行った。

2018	(1)2019年2月4日	「第12回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査会への参加(学外活動)	芦北町もやい直しセンター (きずなの里)優秀作品について審査委員とし講評を行った。 芦北町立星野富弘美術館において「第12回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査委員を務め、応募作品1968点から入賞・入選作品あわせて63点を決定した。
	(2)2019年2月15日	芦北町立星野富弘美術館における専門委員会への参加、並びに星野富弘作品による「心の教育」の取り組みへの助言(学外活動)	専門委員会において館長の諮問に応じ、次に掲げる事項 (①美術館資料の収集に関すること、②美術館資料の寄贈及び寄託に関すること、③美術館の企画及び運営に関すること)について専門委員として助言を行った。
	(3)2019年3月16日	「第12回星野富弘美術館詩歌公募展」表彰式における講評	芦北町もやい直しセンター (きずなの里)優秀作品について審査委員とし講評を行った。
2019	(1)2020年2月4日	「第13回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査会への参加(学外活動)	芦北町立星野富弘美術館において「第13回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査委員を務め、応募作品1697点から入賞・入選作品あわせて63点を決定した。
	(2)2020年2月15日	芦北町立星野富弘美術館における専門委員会への参加	専門委員会において館長の諮問に応じ、次に掲げる事項 (①美術館資料の収集に関すること、②美術館資料の寄贈及び寄託に関すること、③美術館の企画及び運営に関すること)について専門委員として助言を行った。
2020	(1)2021年2月2日	「第14回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査会への参加(学外活動)並びに芦北町立星野富弘美術館における専門委員会への参加	芦北町立星野富弘美術館において「第14回星野富弘美術館詩歌公募展」における審査委員を務め、応募作品2067点から入賞・入選作品あわせて63点を決定した。専門

2015	(1)2015年11月21日	鑑賞教育シンポジウム「美術鑑賞という行為について考える」講演演題「幼児・児童を対象とした日本美術鑑賞学習の現状と課題」 場所：熊本大学	熊本大学教育学部美術科
	(2)2016年3月2日	「平成27年度ブックコミュニケーション郷土の本・著者の集い」並びに「第30回郷土関係出版物展～ふるさと熊本ゆかりの著作物展」参加 場所：ホテル日航熊本	熊本県文化懇話会、熊本県立図書館
	(3)2016年3月8日	「文化財に親しむ授業」高精細複製文化財を用いた鑑賞教育プログラムの研究への協力 場所：南関町立南関中学校	熊本大学教育学部美術科 水野裕史氏（主研究者）
2016	(1)2016年6月26日（研究会活動）	「第7回 国際乳幼児教育学シンポジウム」協議会参加場所：東京大学本郷キャンパス福武ラーニングシアター	東京大学、ポピンズ国際乳幼児教育研究所
	(2)2016年11月6日（研究会活動）	「地域連携の構築：日米自然科学博物館事業 公開フォーラム」意見交換会参加 場所：阿蘇プラザホテル	モンタナ州立大学附属ロッキー博物館、御船町恐竜博物館、（公財）阿蘇火山博物館、熊本市立熊本博物館、天草市立御所浦白亜紀資料館、カーター郡立博物館
	(3)2016年11月19日（研究会活動）	「第13回 和文化教育学会」協議会参加 場所：奈良学園大学	和文化教育学会
	(4)2016年12月10日（研究会活動）	「第2回 美術鑑賞教育シンポジウム」意見交換会参加 場所：熊本大学工学部百周年記念館	熊本大学教育学部美術科
	(5)2017年1月21日（研究会活動）	「はま・なか・まちプロジェクト」意見交換会参加 場所：つなぎ美術館	つなぎ美術館、福島県立博物館
2017	(1)2017年4月28日 - 6月11日	「トルソ」（彫刻）出展 展覧会『佐賀大学と「美協展」』	佐賀大学美術館、佐賀美術協会
2018	(1)2018年7月17日、18日	3歳児さくら組保育活動ゲストティーチャー （「粘土で造形あそび」ゼミ生と共に活動）	九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園
	(2)2019年1月18日、1月25、2月1日	6年生図画工作科授業ゲストティーチャー （「熊本の伝統文化」に関する講話、「鬼瓦の鑑賞の活動」並びに「粘土による造形の活動」の指導）	熊本市立健軍小学校
2019	(1)2020年2月1日	「ルンビニー造形展～美しい未来を創る子どもたち」（意見交換会等に参加）	認定こども園あかさかルンビニー園
2020	(1)2021年1月16日	「第64回合志マンガ義塾」講話	合志マンガミュージアム
2021	(1)2021年11月27日 - 2021年12月3日	“Couler M” (Mixed Media) 出展 2021 KSBDA International Fall Conference and Exhibition	Dankook University Jukjeon Campus, 2nd floor hall of Seokjuseon Museum
2022	(1)2022年10月16日	「紙と現代美術」展関連企画「くしゃくしゃおばけ」造形ワークショップ（新聞紙を使った造形の指導）	熊本市現代美術館
	(2)2023年1月21日、22日	3年生図画工作科授業ゲストティーチャー （版画表現の指導）	熊本市立飽田東小学校
3 社会的表彰 なし			

